

Lesson24

時制 4(まとめ)/もっと難しいと思っていました!(^^)!

I thought it would be more difficult.

時制は種類も多く日本語の考え方とは異なるものもあるため、意味や使い方を注意深く確認することが大切です。独特な決まりがある**時制**は文法問題を作りやすいので TOEIC(R)Test にでることも多いです。また、**時制の一致**も時制に関連する重要なポイントです。**I thought it would be more difficult.** 「もっと難しいと思っていました。」の文では時制の一致が行われています。

このレッスンを受講することで時制に関する注意事項と時制の一致について理解できます。

■ Topics

時制 4(まとめ)/ I thought it would be more difficult.

Topic1 時制の復習

- 現在形
- 現在進行形
- 現在完了形
- 過去形
- 過去進行形
- 未来についての表現

Topic2 時制に関連するポイント

- 時制の一致
- 例外

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



I thought it would be more difficult.

■ Topic1

時制の復習

ここまで学習してきた時制について復習しましょう。

●現在形：

現在形は、今していることを述べるわけではなく、現在の**状態**や**習慣**について表現するのに使います。

- ・現在の状態

Doug is a professional surfer. 「ダグはプロのサーファーです。」

- ・習慣や繰り返し行う動作

I drive to work every day. 「私は毎日車で通勤しています。」

●現在進行形

現在進行形は**進行中の動作**や**確定している予定**を表現します。

- ・現在進行中の動作

I am eating lunch now. 「今私は昼食を食べています。」

- ・確定している予定

We are going to a movie tonight. 「今晚私達は映画を見に行きます。」

●現在完了形

現在完了形は過去のことを現在と関連づけて述べる表現で、**完了**、**経験**、**継続**を表現できます。特に重要なのは **since** + 時のような**継続期間**の情報をつける場合を除き、**現在完了形**には過去のある一時点だけを意味する単語を付けられないことです。例えば、いつ何をしたかということは現在完了形で尋ねることはできません。

I have just finished reading this book. 「私はこの本を読み終えたところです。」

✘ **I have finished reading this book yesterday.**

✘ **When have you finished reading this book?**

●過去形

過去形では**過去の状態**、**過去に行った動作**、**過去の習慣**について述べることができます。

・過去の状態

The room was vacant. 「その部屋は空いていました。」

・過去の動作

I finished reading this book yesterday. 「私は昨日この本を読み終えました。」

・過去の習慣

We often went to that restaurant. 「私達はよくそのレストランに行きました。」

●過去進行形

過去進行形は**過去**のある時点で**進行中**の動作を表現します。

John was playing tennis at 6:30pm yesterday.

「ジョンは昨日の午後6時半はテニスをしていました。」

I was replacing a light bulb when the landlord came.

「大家さんが来た時、私は電球を交換していました。」

注意：過去進行形を使う際はいつのことか述べることが多いです。

●未来についての表現

will と **be going to** は使い方が異なります。

・**will** には**単純未来**と**意志未来**の使い方があります。自然に起こることや、その時にしようと思ったことを表現します。

I will be twenty-five tomorrow. 「私は明日25歳になります。」

I will help you prepare a meal. 「食事の準備をするのを手伝います。」

・ **be going to** では既にするつもりでいたこと、確実に起こると思われることを表現します。

I am going to play squash tonight. 「今晚スカッシュをするつもりです。」

It is going to rain tonight. 「今晚、雨が降るでしょう。」

■ Topic2

時制に関連するポイント

文の中心となるのが**主節**で、**接続詞**や**関係詞**を伴い**情報を補足**しているのが**従属節**です。

I thought that Jenny was a hero. 「私はジェニーが英雄だと思いました。」

主節 主語 + 動詞	従属節			
I thought 「私は~と思った」	接続詞	主語 名詞	述語動詞 be 動詞	補語 冠詞 + 名詞
	that 「~ということ」	Jenny 「ジェニーが」	was 「~でした」	a hero 「英雄」

● 時制の一致

主節の動詞が**過去形**の時、**従属節の時制**を**主節の時制に一致**させる場合があります、このことを**時制の一致**といいます。**従属節の時制**が**主節**と同じ**過去**の内容であれば、**従属節の動詞**を**過去形**にします。また、**従属節の時制**が**主節**よりも**前**の内容であれば、**従属節の動詞**を**過去完了形**にします。ただし、**従属節**の内容が**現在**もあてはまる場合や普遍的な事実などは**時制の一致**をしません。

I thought this was a good idea. 「私はこれは良いアイデアだと思いました。」

注意：従属節内を現在形にすると、今でもこれは良いアイデアであると思っていますことを意味します。

I thought this is a good idea.

Mary thought she had been able to develop a unique product.

「メアリーはユニークな商品を開発することができたと思った。」

注意：従属節内を現在完了形にすると、今でもそのように思っているという意味になります。

Mary thought she has been able to develop a unique product.

Edgar was sure that the product would sell well.

「エドガーはその商品は売れると確信していました。」

注意：従属節内で **will** を使うと、今でもその商品は売れると思っているという意味になります。

Edgar was sure that the product will sell well.

●例外

時制の一致には**例外**があります。例えば、**一般的真理**や**現在の事実**や**習慣**、**歴史的事実**などについては**時制の一致**をしません。

・ 一般的真理

I learned that water boils at 100 degrees Celsius.

「私は水は100度で沸騰すると習いました。」

・ 現在の事実・習慣

He said that he works in Seattle.

「彼はシアトルで働いていると言っていました。」

・ 歴史的事実

The history teacher taught us the Kamakura Shogunate was founded in 1192.

「その歴史の先生は私達に鎌倉幕府は1192年に設立されたと教えました。」

注意：**the Kamakura Shogunate was founded in 1192** 「鎌倉幕府は1192年に設立された」を単なる過去の事実と考えた場合は、主節の過去形よりも前の時制に変えるので従属節は**過去完了形**にします。しかし、鎌倉幕府が設立されたということは歴史的な事実なので、ここでは時制の一致をしないで**過去形**のままにします。

スコアアップ!

(DVD 版のみ収録)



例題： I asked him if he _____ reading the report.

- a. had finished
- b. finishes

a.had finished が正解。この文は、過去の時点で彼に"**Have you finished reading the report?**"

「あなたはそのレポートを読み終えましたか?」と尋ねた文です。この文を言った過去の時点までに報告書を読み終えたかどうかを尋ねる意味にするためには、従属節の動詞を過去完了形にする必要があります。尋ねたのは過去のことなので、現在読み終えているかどうか過去に聞くことはできません。そのため、**b. finishes** を選ぶことはできません。

I asked him if he had finished reading the report.

「私は彼にそのレポートを読み終わったかどうか尋ねました。」

もし私が鳥だったら、というフレーズは仮定法の説明に時々使われています。しかし、「もし」と出てきたら必ずしも「仮定法」であるとは限りません。まず、仮定法過去の例を紹介します。

If I were you, I would buy this book.

「もし私があなただったら、この本を買うでしょう。」

If I were a bird, I wouldn't be here studying English.

「もしも私が鳥だったら、私はここで英語は勉強していないでしょう。」

If I had more time, I would travel more.

「もっと時間があつたら、もっと旅行をするでしょう。」

仮定法過去では **if** 節内の文を過去形にします。また、1人称単数や3人称単数が主語でも、**be** 動詞は **were** を使います。ただし、口語では **was** が使われることもあります。仮定法過去では現在の状況とは異なることを想定します。**If I were a bird** の例では私は鳥ではないので仮定法過去を使います。

他にも「もし」を使う表現に直説法があります。直説法では現在の状況をそのまま表現します。仮定法とは異なり、起こり得ることを想定している文です。

If it rains today, I will cancel the trip. 「もし今日雨が降ったら、私は旅行をキャンセルします。」

If you have time, I will make you a cup of coffee. 「もしあなたにお時間があれば、コーヒーをお入れします。」

If a warning message appears on a screen, please let me know. 「画面上に警告文が出てきたら教えてね。」

「もし雨が降ったら」という文は日本語では過去形になっていますが、英語では現在形で表現しているので注意してください。

日常的には仮定法よりも直説法のほうが、ずっとよく使われます。

ちなみに、「もし私が鳥だったら」などと言うことって、あまり無いと思うんですけどね、(^_^;)

コーヒーブレイク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- 現在形、現在完了形、過去進行形には特に注意。
- 主節の時制が過去の時、従属節で時制の一致をすることがある。
- 時制の一致には例外がある。

I thought it would be more difficult.
「もっと難しいと思っていました!(^^)!!」

主語 代名詞	述語動詞 動詞	目的語 従属節		
I 「私は」	thought 「思った」	主語 代名詞	述語動詞 助動詞 + be 動詞	補語 形容詞
		it 「それは」	would be 「~だろう」	more difficult 「もっと難しい」



Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. Light _____ faster than sound.
a. travel
b. travels
c. is traveling
d. traveled
- 2 Ms. Clark told me she _____ rent a condominium in Aspen during the New Year holidays last year.
a. will
b. will be renting
c. has to
d. would
3. Mr. Smith told us he _____ never worked in the factory before.
a. has
b. has been
c. had
d. had been

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Shari takes vitamin and mineral supplements _____.
a. yesterday
b. tomorrow
c. now
d. every day
2. Some members of the overseas operation section did not know that the capital of Australia _____ Sydney.
a. is not
b. was not
c. will be
d. were
3. Mr. Sasaki told me he _____ the head of the procurement section then, but he has been promoted since then and now he is no longer the head of the section but is responsible for the whole branch.
a. is
b. would be
c. was
d. had been

Explanation - Practice

1. Light travels faster than sound. 「光は音よりも早く進む。」

解説 : **b. travels** 「進む」(3人称単数現在形)が答えです。科学的な事実なので現在形で表現します。

a. travel 「進む、旅行する」(動詞の原形)は **light** が主語なので3人称単数現在形の **s** が必要です。

c. is traveling (**be** 動詞+**ing** 形)は現在進行中の動作や個人的な予定を表現する現在進行形ですが、科学的な事実は現在形で表現するためこの状況に合っていません。**d. traveled** (動詞の過去形)ですが、「光は音よりも早く進む」というのは常にあてはまる科学的な事実について述べているので、過去形にはしません。

2 Ms. Clark told me she would rent a condominium in Aspen during the New Year holidays last year. 「クラークさんは去年の新年休みの期間にアスペンにコンドミニウムを借りると言っていました。」

解説 : **d. would** (助動詞の過去形)が答えです。文の中には **told**(**tell** の過去形)とあり、過去のことを話していることが分かります。過去の時点での意思について述べているので、**told** 「話した」(動詞の過去形)に時制の一致をして **will** を **would** にします。

a. will 「～でしょう」(助動詞)は未来のことなのでダメです。**b. will be renting** 「借りていますでしょう」(助動詞+**be** 動詞+**ing** 形)についても、現在からみて **Ms.Clark** がこの文を言ったのは過去のことなので未来を意味する表現ではダメです。**c. has to** 「～しなければならない」(**have** の三人称単数現在形+**to**)では現在のことについて述べるため、主節の **told** に時制の一致をする必要があるのでダメです。

3. Mr. Smith told us he had never worked in the factory before.

「スミスさんは以前その工場で働いていたことがないと私達に言いました。」

解説 : **c. had** (**have** の過去形)が答えです。これを入れると過去完了形にすることができ **had never worked** 「(過去のある時点までに)働いたことがない」(**have** の過去形+**never**+過去分詞)という意味になります。過去の時点までの経験について述べているので、時制の一致をして過去完了形にします。

a. has (**have** の三人称単数現在形)では現在完了形にすることができますが、現在完了形は現在までの経験を述べる表現なのでダメです。**b. has been** (**have** の三人称単数現在形+**be** 動詞の過去分詞)は時制だけでなく形としても入れることができません。**has been worked** (**have** の三人称単数現在形+**be** 動詞の過去分詞+過去分詞)とすると受動態になりますが、主語が動作の対象の意味になってしまいます。**d. had been** (**have** の過去形+過去分詞)は時制としては過去完了形なので正しいですが、主語が動作の対象の意味となる受動態になってしまうため意味が通りません。

Explanation - Homework

1. Shari takes vitamin and mineral supplements every day.

「シャリはビタミンとミネラルのサプリメントを毎日摂取しています。」

解説 : **d. every day** 「毎日」が答えです。現在形の動詞で現在の習慣について述べているため、それにあう単語を選びます。

a. yesterday 「昨日」、**b. tomorrow** 「明日」、**c. now** 「今」は現在の習慣について述べる文に付けられません。

2. Some members of the overseas operation section did not know that the capital of Australia is not Sydney. 「海外営業部の数人のメンバーはオーストラリアの首都がシドニーではないことを知りませんでした。」

解説： **a. is not** が答えです。時制の一致の例外で、現在もあてはまる事実は時制の一致をしないということのポイントにしています。

b. was not は、時制の一致をする必要はないので入れられません。**c. will be** は、もしこれからそうなるのであれば時制の一致をします。**d. were** は主語が単数なのでつけることはできません。

3 Mr. Sasaki told me he was the head of the procurement section then, but he has been promoted since then and now he is no longer the head of the section but is responsible for the whole branch. 「佐々木さんはその時は支店の調達部の責任者だと言っていましたが、その後彼は昇進して今はもうその部の責任者ではなく支店全体の責任者です。」

解説： **c. was** が答えです。**he has been promoted since then** 「彼はそれ以後昇進した」、**is responsible for the whole branch** 「(現在は) 支店長である」とのことです。また、**no longer the head of the section** 「もはやそのセクションのトップではない」となっていますので、**then** 「その時」はそのセクションの責任者だったと考えるのが妥当です。

a. is (現在形) 現在もそうであるなら入れられますが、現在は異なるのでダメです。**b. would be** を入れると、これからセクションの責任者になるという意味になります。**d. had been** ですが、その時、佐々木さんが以前は調達部の責任者であると言っていたなら正解になりますが、もはや調達部の責任者ではないと言っています。調達部の責任者から支店全体の責任者になったということなので、ここの答えは **had been** にはなりません。